

加齢とヒアルロン酸

加齢とともにからだのヒアルロン酸は減少していきます。ヒアルロン酸が減少すると、肌のハリがなくなったり、関節の動きが悪くなり、痛みを生じたりすることがあります。



ヒアルロン酸の量は加齢とともに減少

からだの中のヒアルロン酸の量は、加齢とともに減少していきます。特に皮膚では、大人の皮膚に含まれるヒアルロン酸の量は、赤ちゃんの20分の1といわれています。

関節の中で潤滑油やクッションの役割をはたしているヒアルロン酸が減少すると、関節に痛みが出てきます。

歩き始めるときに
膝に違和感を覚えたり、
階段を昇り降りする時に
痛みが出たり…

思い当たりませんか？

